



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社トーモク

上場取引所 東札

コード番号 3946 URL <https://www.tomoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中橋 光男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山口 禎人

TEL 03-3213-6811

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	105,553	7.3	2,842	7.6	3,644	31.7	2,369	39.0
2022年3月期第2四半期	98,382	24.2	2,641	82.1	2,767	73.4	1,704	73.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,286百万円 (74.7%) 2022年3月期第2四半期 1,880百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	144.30	—
2022年3月期第2四半期	104.16	95.08

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	192,671	78,984	40.7
2022年3月期	190,018	76,126	39.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 78,486百万円 2022年3月期 75,661百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	27.00	52.00
2023年3月期	—	28.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	11.6	10,000	20.0	10,500	16.9	6,500	8.7	395.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	19,341,568 株	2022年3月期	19,341,568 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	2,912,583 株	2022年3月期	2,922,651 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	16,423,195 株	2022年3月期2Q	16,361,830 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

※当社は以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

2022年11月29日（火）・・・機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する経済活動や行動制限が緩和され、個人消費や設備投資、雇用情勢などに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、感染再拡大への不安やウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰、世界的な金融引締めが進む中での急激な円安や物価上昇など、先行きについては引続き不透明な状況が続いております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は105,553百万円（前年同期比7.3%増）、経常利益は3,644百万円（前年同期比31.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,369百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

## 〔段ボール〕

国内段ボール部門は、飲料や青果物、通販・宅配向けの販売数量が増加しましたが、食料品分野で各商品の値上げの発表が継続しており、消費者の節約志向の影響を受け生産量は前年並みで推移しました。また、主材料である原紙価格の上昇や重油・ガス・電力料・接着剤・インキ・輸送費等の値上がりを受け、期初から製品値上げに取り組んでまいりました。

米国・ベトナムの海外段ボール子会社2社は増収・増益となりました。円安の影響もあり営業利益は前年同期比増加しました。

その結果、売上高は55,663百万円（前年同期比12.0%増）となりましたが、国内での製品値上げの決定時期の遅れもあり、段ボール部門の営業利益は2,674百万円（同12.6%減）となりました。

## 〔住宅〕

住宅部門では、㈱スウェーデンハウスの「オリコン顧客満足度調査ハウスメーカー注文住宅」8年連続総合第1位、㈱玉善の「オリコン顧客満足度調査建売住宅ビルダー東海」2年連続第1位を訴求し、販売活動を強化してまいりました。㈱スウェーデンハウスの販売棟数は前年同期比増加したものの、㈱玉善では木材価格の高騰や半導体不足の影響を受け建売販売価格が上昇したことから来場者数が落ち込み、販売棟数は前年同期比減少となりました。

その結果、住宅の売上高は28,031百万円（前年同期比1.3%減）となりました。収益面では売上高が下半期に集中するため営業損失が563百万円（前年同期は営業損失1,203百万円）となりました。

## 〔運輸倉庫〕

運輸倉庫部門においては、今年は例年より早く6月から猛暑に見舞われたことから飲料関係を中心とした取扱数量が増加し、更に㈱トーウンTLP札幌の本格稼働により増収となりましたが、原油価格高騰の影響を受けた燃料費等の上昇により、減益となりました。

運輸倉庫の売上高は取扱数量の増加により21,858百万円（前年同期比7.7%増）となり、営業利益は1,086百万円（同1.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金等が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産や電子記録債権等の増加により、前連結会計年度末比2,652百万円増加の192,671百万円となりました。負債は借入金等の減少により前連結会計年度末比204百万円減少の113,687百万円となりました。純資産の部は利益剰余金や為替換算調整勘定等の増加により前連結会計年度末比2,857百万円増加の78,984百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、現時点における不確定要素が多いため、2022年5月9日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,701	13,956
受取手形、売掛金及び契約資産	28,706	31,232
電子記録債権	5,906	6,997
棚卸資産	24,597	25,397
その他	5,349	6,248
貸倒引当金	△47	△59
流動資産合計	81,213	83,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	35,249	35,100
機械装置及び運搬具（純額）	18,862	18,814
土地	33,284	33,781
その他（純額）	3,519	3,358
有形固定資産合計	90,916	91,055
無形固定資産		
投資その他の資産	1,725	1,539
投資有価証券	7,855	7,799
その他	8,623	8,799
貸倒引当金	△315	△295
投資その他の資産合計	16,163	16,302
固定資産合計	108,804	108,897
資産合計	190,018	192,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,633	22,419
短期借入金	9,133	8,899
1年内返済予定の長期借入金	3,871	9,842
未払法人税等	1,880	1,313
賞与引当金	1,981	1,855
その他の引当金	415	225
その他	9,510	10,948
流動負債合計	49,426	55,504
固定負債		
長期借入金	54,164	48,171
退職給付に係る負債	3,590	3,536
その他の引当金	417	399
その他	6,292	6,074
固定負債合計	64,465	58,182
負債合計	113,891	113,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,276	11,276
利益剰余金	50,558	52,485
自己株式	△4,213	△4,198
株主資本合計	71,291	73,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,822	2,787
為替換算調整勘定	481	1,495
退職給付に係る調整累計額	1,066	969
その他の包括利益累計額合計	4,370	5,253
非支配株主持分	464	497
純資産合計	76,126	78,984
負債純資産合計	190,018	192,671

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	98,382	105,553
売上原価	83,197	89,469
売上総利益	15,184	16,083
販売費及び一般管理費	12,543	13,241
営業利益	2,641	2,842
営業外収益		
受取利息及び配当金	135	130
為替差益	98	694
雑収入	245	341
営業外収益合計	478	1,166
営業外費用		
支払利息	210	252
雑損失	142	112
営業外費用合計	352	365
経常利益	2,767	3,644
特別利益		
投資有価証券売却益	1	34
ゴルフ会員権売却益	10	-
特別利益合計	12	34
特別損失		
固定資産処分損	26	99
減損損失	32	1
特別損失合計	59	101
税金等調整前四半期純利益	2,720	3,577
法人税、住民税及び事業税	1,450	1,304
法人税等調整額	△476	△132
法人税等合計	973	1,171
四半期純利益	1,747	2,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,704	2,369



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,747	2,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	164	△37
繰延ヘッジ損益	△3	-
為替換算調整勘定	49	1,014
退職給付に係る調整額	△77	△96
その他の包括利益合計	133	880
四半期包括利益	1,880	3,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829	3,252
非支配株主に係る四半期包括利益	51	33

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	49,692	28,399	20,290	98,382	—	98,382
セグメント間の内部売上高 又は振替高	249	19	2,650	2,919	△2,919	—
計	49,942	28,418	22,941	101,302	△2,919	98,382
セグメント利益又は損失(△)	3,059	△1,203	1,107	2,963	△322	2,641

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△322百万円には、セグメント間取引消去75百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	段ボール	住宅	運輸倉庫	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,663	28,031	21,858	105,553	—	105,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	31	2,850	3,012	△3,012	—
計	55,793	28,063	24,708	108,565	△3,012	105,553
セグメント利益又は損失(△)	2,674	△563	1,086	3,198	△355	2,842

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△355百万円には、セグメント間取引消去82百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。